

(5) 手段別に見た都心 の発着交通の推移

都心の特徴は、自転車の増加と自動車とバスの減少。

- ・自転車は全市的には横ばいのなか、都心発着交通量が増加。
- ・自動車は全市的には増加するなか、都心発着交通量が減少。
- ・バスは全市的に減少するなか、都心発着交通量は全市傾向以上に大きく減少。

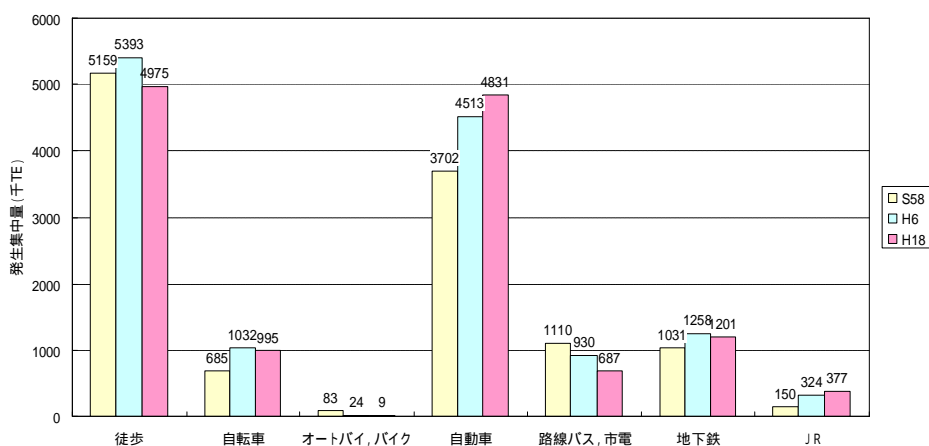


図 1-35 札幌市内の交通手段別発生集中交通量の推移

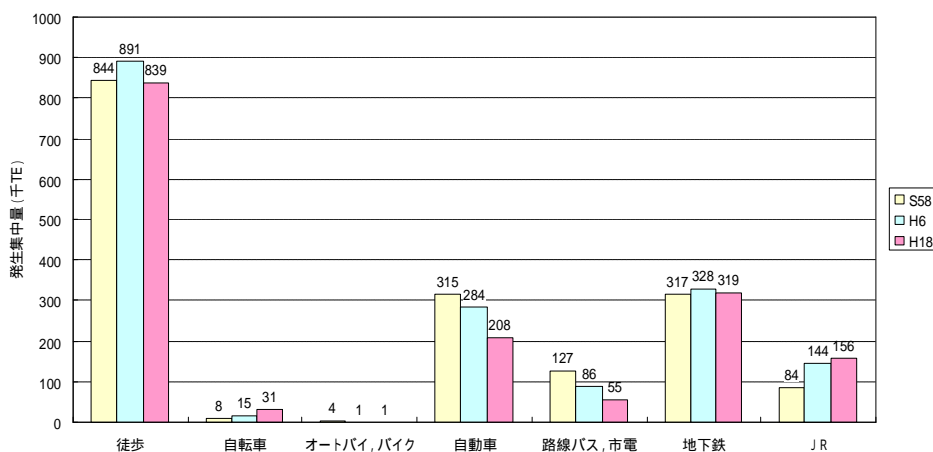


図 1-36 札幌都心の交通手段別発生集中交通量の推移

都心：パーソントリップ調査では、JR 函館線、創成川通、石山通、月寒通（南 4 条通）で囲まれた範囲を札幌都心と定義している。

(6) 通勤

郊外への通勤が増加。

- ・ 都心への通勤が依然多いものの、郊外部への通勤が増加傾向にある。
- ・ 郊外部への通勤は自動車为主体であることが、自動車利用割合の増加の一因と考えられる。

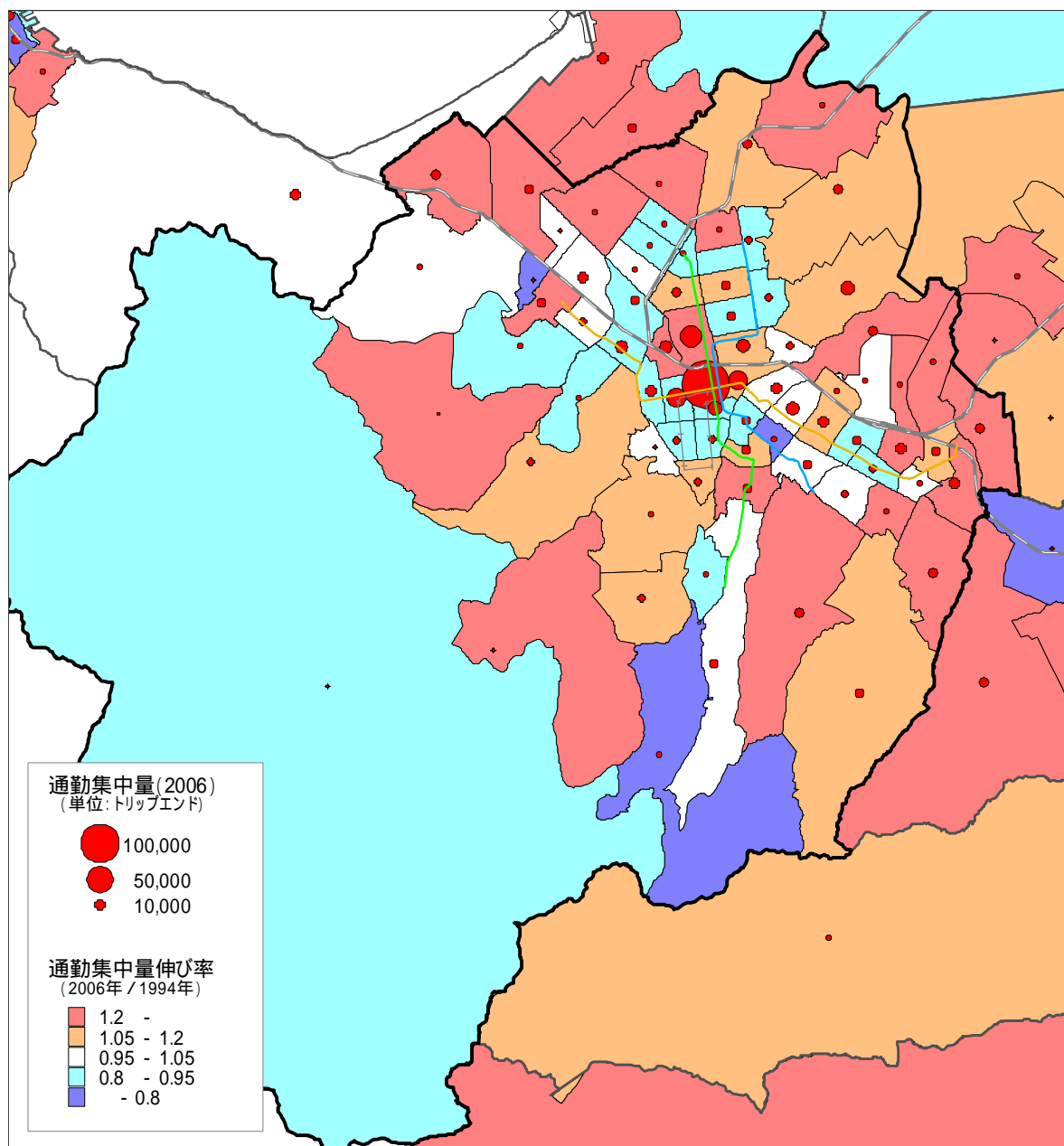


図 1-37 地域別の通勤集中量(2006年)と伸び率(2006年/1994年)

(7) 通学

時間がかかり、乗り継ぎが必要な高校生の通学。

- ・小学生・中学生は大部分が近隣の学校に通学しているため、高校生の通学に着目する。
- ・15歳から19歳（主に高校生）の通学所要時間は通勤に比べ長い。
- ・駅から遠い学校が多く、15歳から19歳（主に高校生）の通学では、複数手段を組み合わせる移動が多い傾向がある。

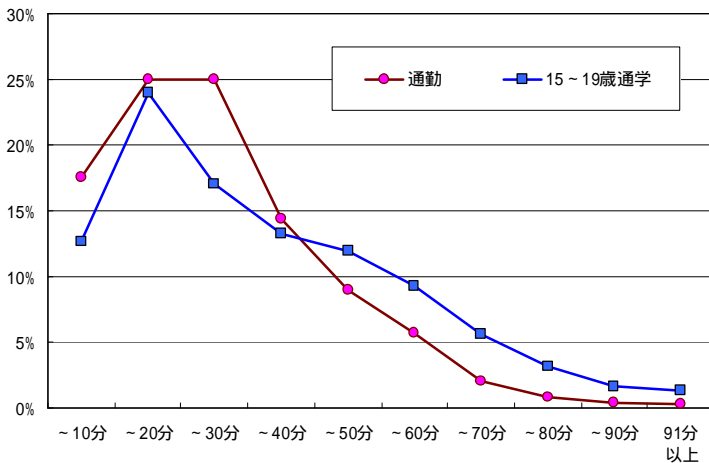


図 1-38 札幌市内の高校生等通学と通勤の所要時間比較

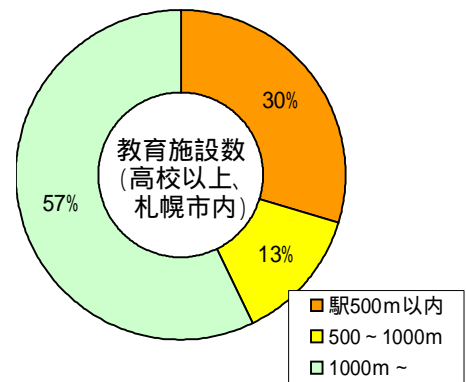


図 1-39 教育施設の配置状況

(札幌市内集計、H18現在)

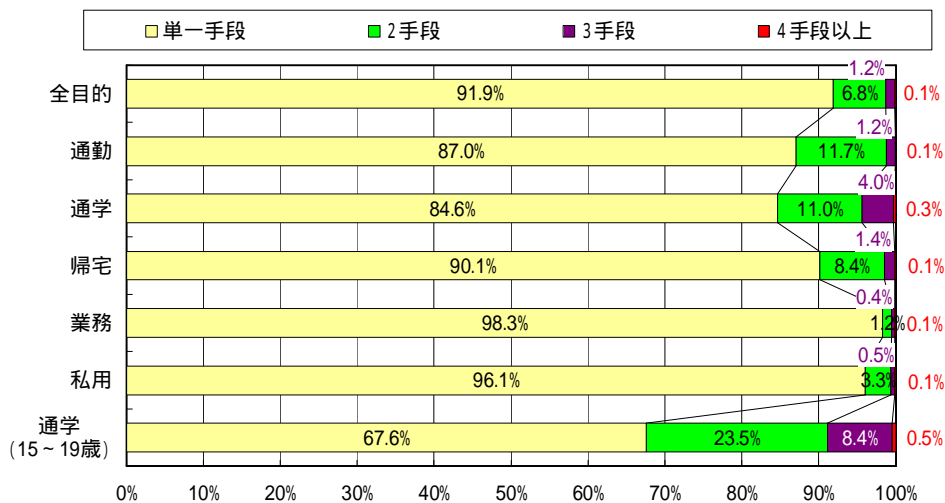


図 1-40 目的別の利用手段数構成

(8) 家事・買い物（私用目的の一部）

郊外に向かう家事・買い物移動が増加。

- ・ 休日の「家事・買い物」「社交・娯楽・食事」での集中量（目的地側での交通量）は大型小売店舗があるゾーンで大きい。都心部は「家事・買い物」だけでなく「社交・娯楽・食事」も多い。
- ・ 都心への「家事・買い物」「社交・娯楽・食事」の集中量は減少しており、公共交通（バス・鉄道）の減少幅が大きい。都心以外では「家事・買い物」の集中量が増加しており、自動車による増加が著しい。

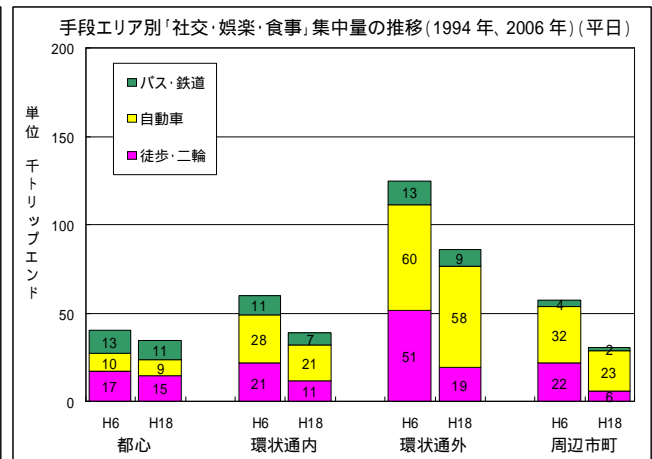
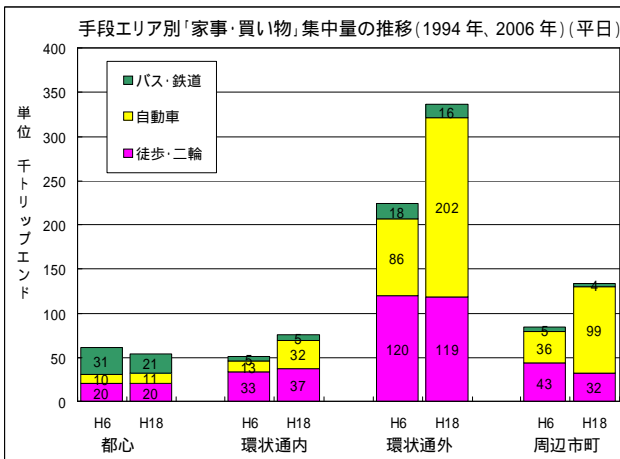
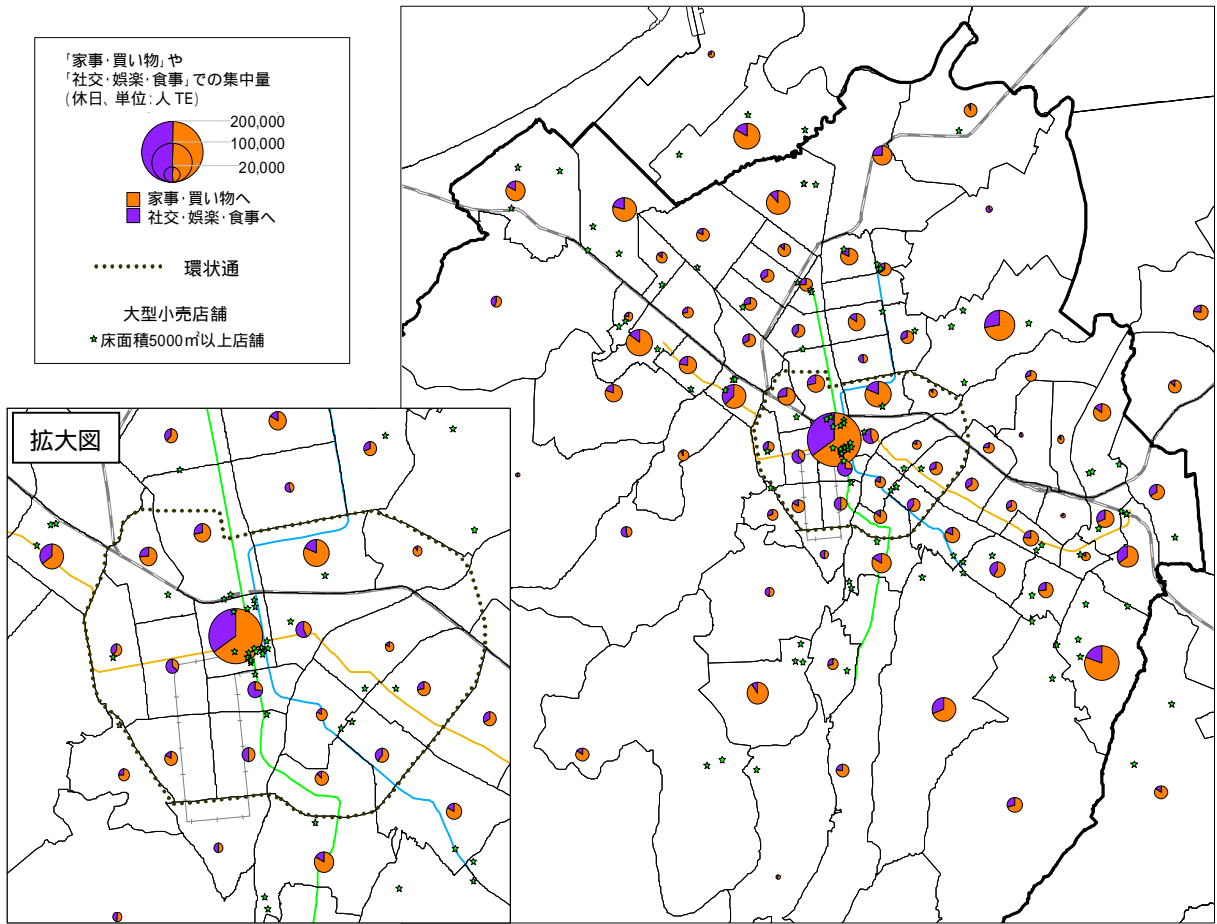
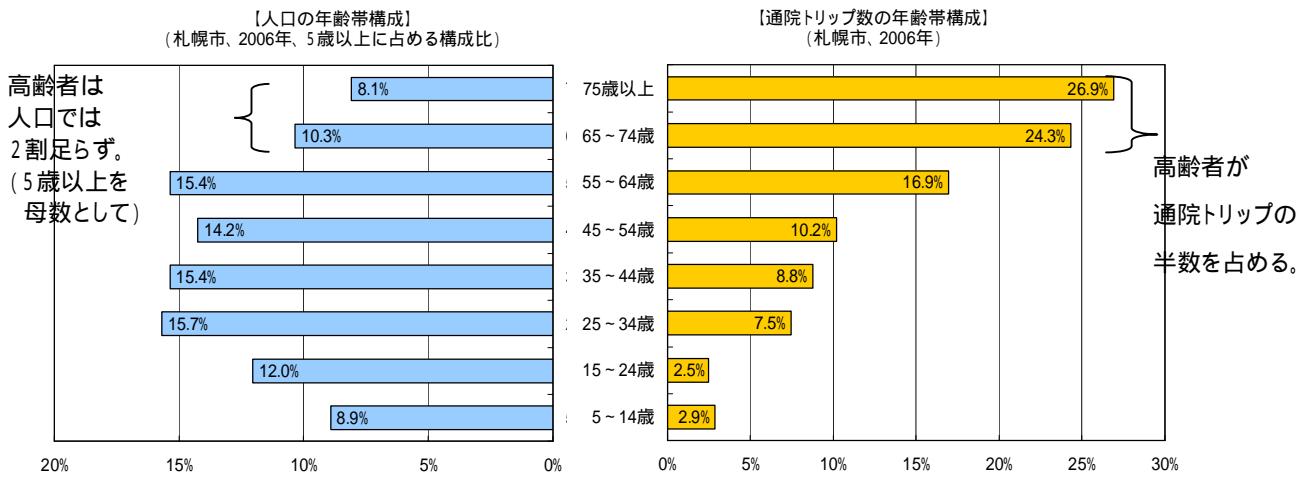


図 1-41 「家事・買い物」「社交・娯楽・食事」の集中量（分布と手段別推移）

(9) 通院（私用目的の一部）

通院の半数は高齢者。高齢になるほどタクシー利用が多い。

- ・通院トリップの約半数が65歳以上の高齢者によるもの。
- ・通院の移動手段は自動車が多く、自動車の内訳は多い順から「本人運転」「タクシー」「送り迎え」となっている。
- ・高齢になるほどタクシーの利用割合が高い。



棒グラフ内の%表記は、5歳以上全体に占める割合。

図 1-42 年齢階層別の人口と通院トリップ数（札幌市集計）

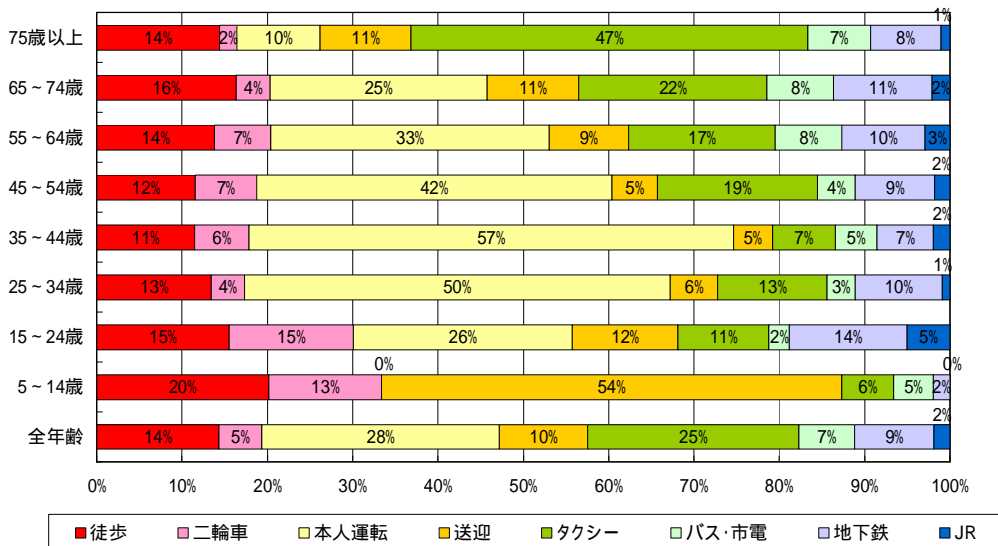


図 1-43 年齢階層別の通院手段構成比（札幌市集計）

(10) 高齢者の交通特性

車を持たない高齢者は外出率が低い。

- ・高齢者の移動目的は私用（家事・買い物、趣味・娯楽など、通院）が多い。
- ・高齢になるほど外出率は低下する傾向がある。また、自動車を持つ人と持たない人の外出率の差が高齢者では大きい。
- ・自動車を持つ人は、年齢にかかわらず自動車で移動する傾向が高い。
- ・65歳未満の自動車を持たない人は、徒歩・自転車や公共交通での移動が主だが、高齢になると送迎やタクシーなどで移動する傾向が強い。

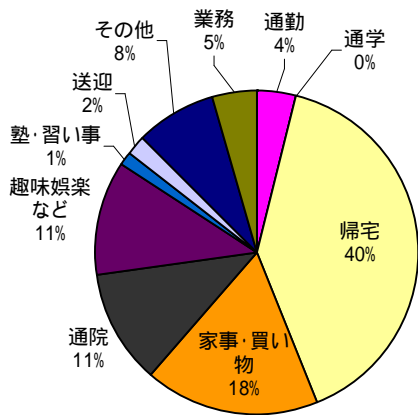


図 1-44 高齢者の移動目的構成  
(私用細分類、札幌市集計)

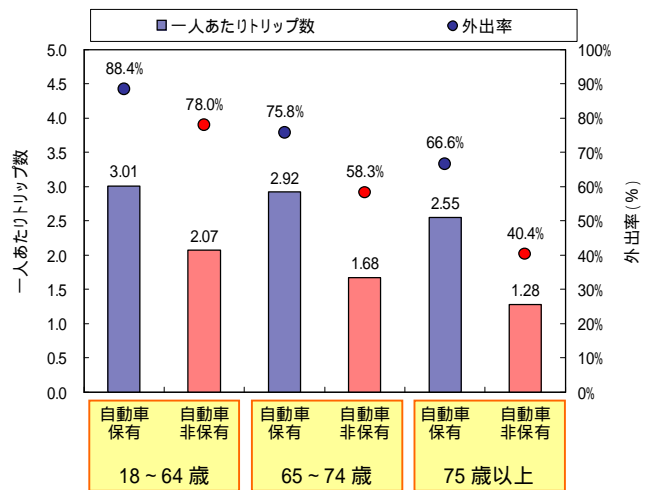


図 1-45 札幌市内の自動車保有有無別年齢階層別一人あたりトリップ数と外出率

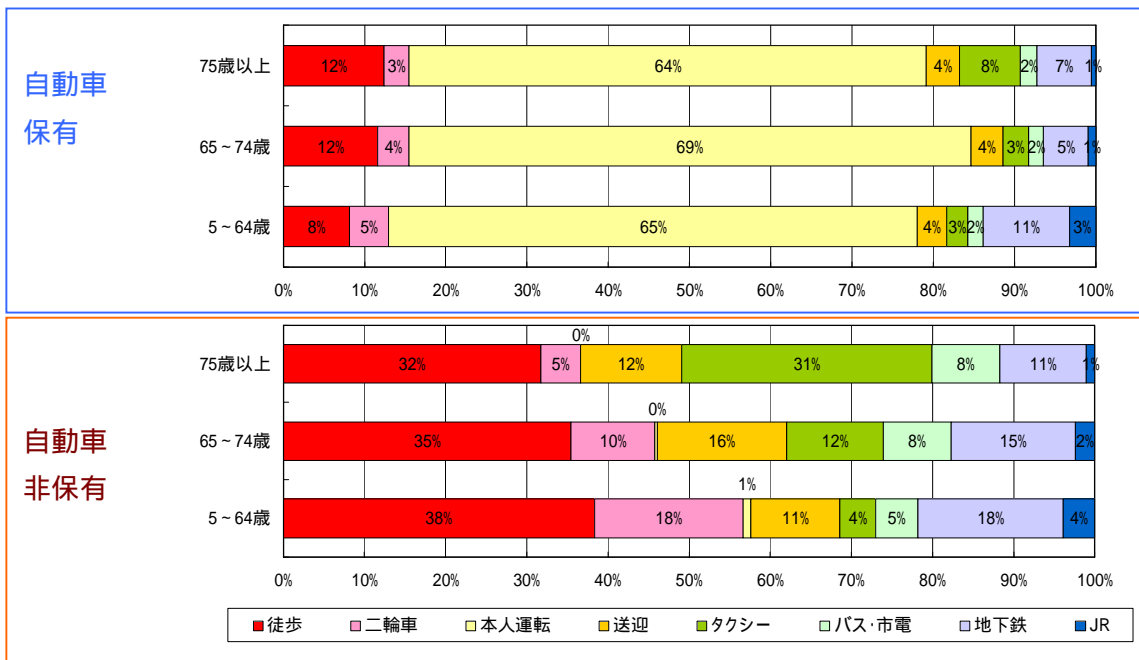


図 1-46 自動車保有非保有別の年齢階層別交通手段構成比 (札幌市集計)

(11) 冬の交通変化と満足度

「徒歩」「バス」「自動車」は冬期に満足度が大きく低下。

- 交通サービスへの満足度は、「地下鉄」は秋と冬で殆ど変化が無いのに対し、「徒歩」「バス」「自動車」は冬期に満足度が大きく低下している。
- 冬期の外出率は秋期より低い傾向があり、高齢者ほど秋冬の差が顕著である。冬期の交通環境悪化から外出を控えていると考えられる。

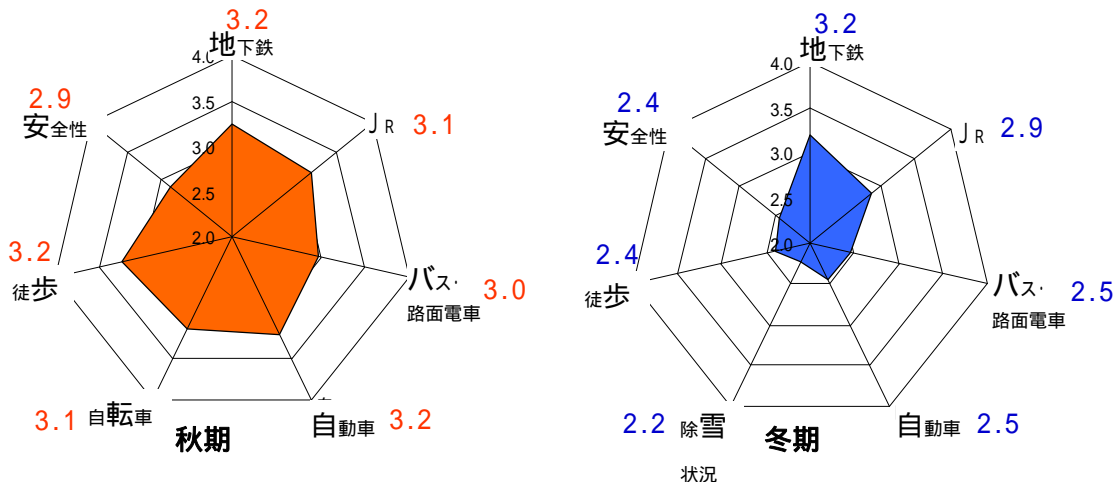
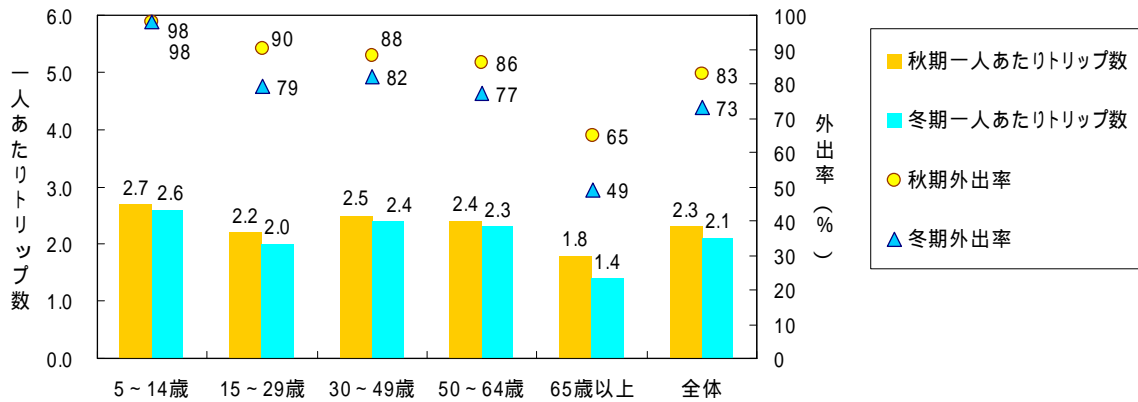


図 1-47 地域交通サービスへの満足度 (道央都市圏集計)



秋期・冬期の両方を回答している調査対象者のみをサンプルとした道央都市圏での集計

図 1-48 年齢階層別の外出率・トリップ数の秋冬比較